

男決勝 神奈川県 vs 長崎県

開催場所	東京体育館TM	開始時間／終了時間	13:51 / 14:56
試合区分	男決勝	主審	蒲 健一
開催期日	2017年03月30日	副審	東條 拓正、大野 哲広



テーブルレポート

神奈川県

No	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4		更科 陽	-	-	-	-	-
5		川崎 優大	-	-	-	-	-
6	*	北園 竜馬	14	2	4	0	2
7	*	田中 未来翔	4	0	2	0	1
8	*	佐藤 悠真	7	1	2	0	2
9		井上 水都	-	-	-	-	-
10		保延 帝翔	-	-	-	-	-
11		内田 葦	-	-	-	-	-
12		宮澤 遼	-	-	-	-	-
13	*	御林 広樹	0	0	0	0	1
14	*	田中 力	34	3	12	1	1
15		土田 トリスタン 葉	-	-	-	-	-
HC 松澤 優介/ TEAM						0	
合計		59	18	40	1	7	

長崎県

No	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	松井 譲矢	3	0	1	1	0
5		野口 完汰	0	0	0	0	4
6		中臺 亜里	-	-	-	-	-
7	*	田口 大	6	0	3	0	0
8		様本 恵斗	-	-	-	-	-
9		小浦 ヒオ	-	-	-	-	-
10		松山 泰智	0	0	0	0	1
11	*	米須 玲音	29	2	9	5	1
12	*	犬山 咲人	17	3	4	0	0
13		岩永 凉聖	0	0	0	0	0
14		松永 陽大	0	0	0	0	0
15	*	立石 天馬	2	0	1	0	2
HC 梅崎 信久/ TEAM							0
合計			57	15	36	6	8

S スターター PTS 総得点 3P 3ポイントシュート 2P 2ポイントシュート FT フリースロー F ファウル

 レポート

第30回都道府県対抗ジュニアバスケットボール大会男子決勝戦は神奈川県と長崎県の対戦となつた。ここまで神奈川県は#14を中心に高い身体能力と得点力を武器に勝ち上がつてきた。一方、長崎県も#11を中心に高い技術力と素早い展開で勝ち上がつてきた。

第1ピリオド、神奈川#14と長崎#11が自分の持ち味を発揮し、得点を重ねる。神奈川#14の得点力はばく抜けており、チームの全得点13点を全て一人で決める。長崎は#11のドライブイン、#12の3Pシュートで離されない。第1ピリオド終了、13-11で神奈川県リード。

第2ピリオド、神奈川県が流れをつかむ。長崎のシュートが決まらない中、#14、#6が加点していく。このピリオド、神奈川のスタート選手は全員得点しチームでの得点力を発揮する。長崎も離されない。#11が必死に喰らいつく。ドライブイン、フリースロー、3Pシュートでチームを支える得点力を見せる。第2ピリオド終了、31-26神奈川県リード。終盤、計6試合の疲労から、まさに一進一退。神奈川が#14のバスケットカウントで離そうとすれば、長崎が#11のシュートで離されない。2点差、4点差の攻防が続く。試合の決め手になったのは、神奈川の得点力。#14の得点ももちろんだが、それ以外の選手がこぼれ球拾い、自分でも得点を取りに行った。チームのスタイルを最後まで貫き通した神奈川県が59-57で優勝を手にした。